

命を守るために

情報への感度を高めよう

荒川上流河川事務所 × ブルーモーメント (KADOKAWA)

記録的な豪雨 逃げ遅れゼロへ

線状降水帯は短時間に想定以上の雨が襲います。豪雨災害は起きて当然として備えるしかありません。自分だけは大丈夫と過信せず、国土交通省などが出す河川の水位や自治体の避難情報などをしっかり確認しましょう。



県内を襲った記録的な豪雨＝6月3日午前9時15分ごろ、さいたま市緑区(埼玉新聞)

とりわけ命を守るために、行政が発表する情報を待つだけでなく、「マイ・タイムライン」を自ら作るなど、災害に対する備えを整えましょう。

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12 TEL:049-246-6371 <https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo>



荒川上流 で 検索



BLUE MOMENT

命を守るためにできることは、やるべきことは...?

命を守るマイ・タイムライン



マイ・タイムラインは、河川の水位が上昇したときの避難行動を事前に時系列で決めておき、命を守る行動につなげる防災行動計画です。国土交通省は、小中学生向けのマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」などをウェブサイトで公開しています。



「逃げキッド」の一部。マイ・タイムラインを作成できます

水害の危険度が分かる「キキクル」



洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)は、気象庁がウェブサイト上で提供している防災情報です。「土砂災害」「浸水害」「洪水害」の危険度を5段階の警戒レベルに応じて、赤・紫・黒など色を変えて表示します。自主的な避難の判断に役立ててください。



キキクルのデータを活用したスマホ用アプリもあります

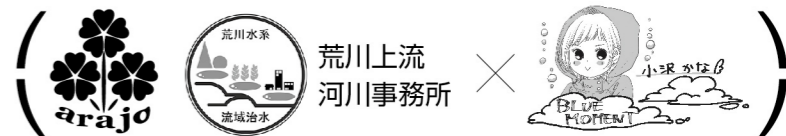
電話で直接避難を促す「逃げなきゃコール」



アプリやメールで災害情報が届くサービスに、離れて暮らす家族などが住む地域を登録します。その地域に災害情報が出たら、届いた情報などをもとに、電話で直接家族に避難を促してください。あなたの呼びかけが大切な家族の命を守ります。



活用を呼びかけるポスター



漫画家・小沢かなさんの『BLUE MOMENT ブルーモーメント』(KADOKAWA 刊、荒木健太郎監修)と荒川上流河川事務所がコラボしました。